

あすなる訪問看護ステーションです。



ステーション外観



リハビリテーションの様子

◎私たちの施設の特徴◎

- ・当ステーションは、平成9年2月3日に開設し21年目になります。
- ・看護師6名、老人保健施設・通所リハビリテーションを兼務する作業療法士4名で訪問リハビリテーションを行っております。
- ・看護師との連携、スタッフ間の情報交換を密に“共に笑顔”で利用者様が希望するリハビリテーション目標が達成できるよう努めております。

＜リハビリテーションに関する連絡先＞

医療法人社団 洞口会

あすなる訪問看護ステーション

住所：〒981-1224 名取市増田字柳田 8-3

電話：022-384-9079 / ファクシミリ：022-384-9256

リウマチの訪問利用者様が手指の動きも悪い中一生懸命書いてくださいましたリハビリ川柳です。

あすなる
明日への元氣
リハビリで

翻つ光と風あび
今日の自分を思ひ愛しくリハビリで
一歩一歩無理なく時間をすごし
リハビリ先生本音があふれ
こねかきよりしくお熱いります

岩沼
地区

リハビリネットワーク通信 第21号

(平成30年10月発行)

発行元：
宮城県仙台保健福祉事務所
健康づくり支援班
022-363-5503 (直通)

Qにお答えします

Q. 社会参加への支援として取り組んでいること、また、成功事例があれば教えてください。
(さふらんフィット名取)

A. 現在、高齢の方の訪問を主に担当させていただいているため、社会参加への支援としての関わりが少ない状況です。しかし、趣味活動として好きなアーティストのライブに娘さんと一緒に行きたい、お孫さんに料理を作ってあげたい、実家の農家の手伝いをしたい等その方の役割や思いを尊重し、それに沿ったリハビリを実施しています。

バトンでつなごう

一問一答 ~紹介リレー~



次回：南東北訪問看護ステーション
さんへバトンタッチ

●質問コーナー●

Q. うつ病や不安神経症等の精神疾患の利用者様との関わりを持つ機会が多くなっています。強い不安を抱えている方との関わりとして、気を付けていることなどありましたら教えてください。

リハビリ川柳

「あさひあび 明日への元氣 リハビリで」(訪問利用者様)

【解説】朝の光と風あび、今日の自分を思い楽しくリハビリで一歩一歩無理なく時間をすごしたい。

「歩行器で 歩く姿は 二十代」(訪問利用者家族様)

【解説】歩行器がなければ、身体が丸くなり高齢に見えるが、歩行器を使用し背筋が伸び姿勢が良くなることで、二十代のように見える。

「杖歩行 気づいた時は 杖いらず」(訪問利用者様)

【解説】杖歩行の練習を一生懸命行っていたら、ついには杖を使わなくて歩けるようになった。